

令和3年10月12日

報道各位

新潟市福祉部
地域包括ケア推進課

**新潟市地域包括ケア推進モデルハウス「実家の茶の間・紫竹」
開設7周年写真展の開催について（お知らせ）**

平成26年10月18日に開設し、新潟市と任意団体「実家の茶の間」（代表：河田珪子氏）の協働により運営している新潟市地域包括ケア推進モデルハウス「実家の茶の間・紫竹」が開設7周年を迎えます。

つきましては、別紙のとおり7周年を記念した写真展を開催いたしますので、取材方よろしくお願いたします。

なお、駐車場がございませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。

お問い合わせ先
新潟市福祉部地域包括ケア推進課 担当 古田
電話025-226-1281（直通）

令和3年10月吉日

関係各位

新潟市地域包括ケア推進モデルハウス「実家の茶の間・紫竹」

7周年写真展開催のご案内

金色の稲穂も刈り取られ、白鳥の飛来の季節がやってきました。

皆様にはいつも多大なご支援をいただき、コロナ禍の中、無事に7周年を迎えることが出来ますことを心より感謝申し上げます。

従来のように、大勢で集まり、報告会も困難なため、今年は7年間の実家の茶の間・紫竹の写真展を開催させていただき、ご報告と、今後を考える機会とさせていただくことに致しました。是非お運びいただき、ご覧いただけますようご案内申し上げます。

誰かに会いたい。誰かと話したい。誰かと一緒にお茶のみしたい。人と一緒に食事をしたい。行くところ、居られるところが欲しい。という願いに応じて始まった地域の茶の間。子供からお年寄り。障害の有無、外国人、誰でもが、いつ来ても、いつ帰ってもいい居場所。平成3年、ニーズを受け止め自然に始まったこの方法は、最近では地域共生社会の構築の方法の一つとしても評価をいただくようになりました。

人と人が知り合い、一緒に過ごすことで、お互いの不自由を知り、助けて！と言える自分をつくり、お互いさまだから・・・と、自然に助け合える関係づくりが広がること。そしてそれを、視える化すること等を目的に、平成26年に新潟市と、任意団体の実家の茶の間の協働事業、地域包括ケア推進モデルハウス実家の茶の間・紫竹として開始され、多くの皆様からご支援をいただき、みんなの力で活動を続けてきました。

ぜひ多くの皆様から7年間の写真をご覧いただきながら、今後の展望をご一緒に考え、少子高齢社会の中でも安心して暮らせる新潟市に、地域になりますようお願いしております。

記

- 日時： 令和3年10月18日(月)、19日(火)、20日(水) (10時～午後3時)
午後1時～3時 保健師さんによる介護・生活相談 (18日のみ)
1時20分～2時 中原新潟市長 (18日のみ)
- 場所： 実家の茶の間・紫竹 新潟市紫竹4丁目21-62
- 主催： 実家の茶の間・紫竹 新潟市地域包括ケア推進課
- 連絡先： 実家の茶の間・紫竹 ☎025-248-1018

皆様のお越しをお待ちしております。